で検索した限りでは，多発していた．③ Zn 欠乏症で脊髄症が発症するかどうか，Zn 欠乏症が疑われていたかどうかは不明．④ 悪性貧血で起こるような大球性貧血であった．

生田房弘　少数例しか見ていないが，悪性貧血に伴う連合変性にこの例は非常によく似ていると思うが，何か少し異なっているようにも思う．前者はもっと tract を知らなくて，focal な強弱があるように思う．私は将来のために，悪性貧血にこだわらずに，上下行路に変性を示しさえしたらすべて連合変性と呼んでおいて，症例をもち寄り，肝障害の型や，栄養障害の内容との相関性を求めていけたら，きっと前進できるように期待しているのだが．

〔大原慎司座長（信州大学）のまとめ〕

Central chromatolysis 様の神経細胞が橋核，脊髄前角に広範に認めれペラグラ的な病変も加わっているのではないか．本例の脊髄白質の Vacuolar myelopathy 様の変化は脳髄病変が基本という点で亜急性連合変性として矛盾はないと思われる．

12. Parkinson 病患者の中脳黒質に認められた acridine orange 染色および DAPI 染色陽性構造物の検討

林　良一*，大原　慎司*，柳澤　信夫*，林　和子**
甲畑　俊朗***，田村　友一****
* 信州大学医学部第三内科
** 同　第一解剖
*** 岐阜大学医学部微生物学
**** 国立療養所富士病院

目的：Parkinson 病（PD）患者の黒質を組織化学的に検索したところH＆E染色陰性，acridine orange(AO) および DAPI 染色で陽性の構造体を認めたので報告する．

対象と方法：PD 患者5名を対象とした．脳は死後5時間以内に取り出し，中性ホルマリンで固定した．パラフィン包埋後 3 μm の厚さで連続切片を作成した．脱パラした切片を AO または DAPI で染色した．さらに，別の切片では DNase または RNase で処理した後に AO 染色をした．

結果：黒質を無染色で観察したところ大きさがほぼ神経細胞と同じで内部に顆粒様物質を含むゼラチン様物質（以下 translucent mass of granules（TMG））を認めた．TMG は5例の患者で認められ，AO 染色で green, red-yellow に染まり，DAPI 染色では TMG 全体は blue に顆粒は blue-white に染った．AO 染色による TMG の蛍光は RNase 処理で著明に減少したが，DNase は変化が認められなかった．

結論：TMG 内の顆粒は AO 染色および DAPI 染色に陽性であり，RNase により蛍光が著明に減少したことから TMG は DNA と RNA を含有する構造物であることが示唆された．文献的には，TMG は PD と Lewy 小体の関係を組織学的に検討した Tretiakoff (1919) の“la degenerescence grumeleuse”または Greenfield & Bosanquet (1953) の“saccules of lipochrome granules”に相応するものと考えられた．

〔討　論〕

巻渕隆夫　① Tretiakoff の glumose degenaration とは異なる形態と思う．② Buscaino body の可能性はどうか？それならば PAS や渡銀染色で染まる．

小柳清光　① 御指摘の顆粒状の所見の back ground として，切片上に focal に何か載っている物質がみえ，それ自体がアクリジンオレンジとダピーで陽性と考えられるが，この所見をどう考えるか．② 脱パラ切片上で黒くみえる bacillus がこれまで知られているか．③ 顆粒状の所見が bacillus として，なぜ生体反応がないのか．

林　良一　① 未熟で（Tretiakoff 小体）組織から浮いているようにみえるが，Tretiakoff 小体はゼリー状で組織内にも入っている．② 現在のところまだ不明である．③ L-form を形成する細菌では生体反応を起こさないことがあるときいているが，その理由および DNA と RNA をもつ構造物は現在のところ何であるかは不明である．今後，Tretickoff 小体のH＆Eとの対応および他の変性疾患でも認められるかどうか検討してみたい．